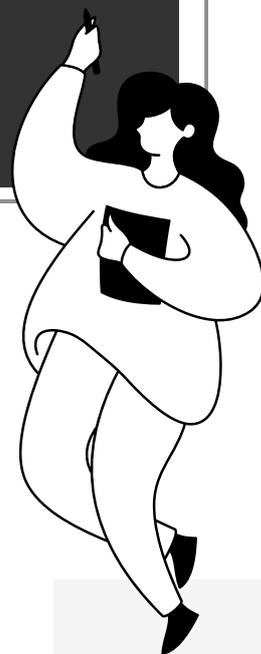


令和5～7年度
「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

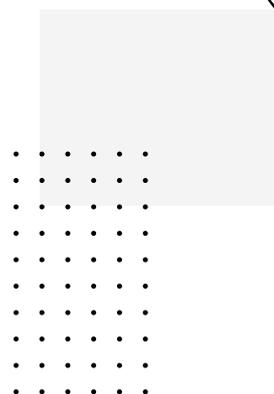
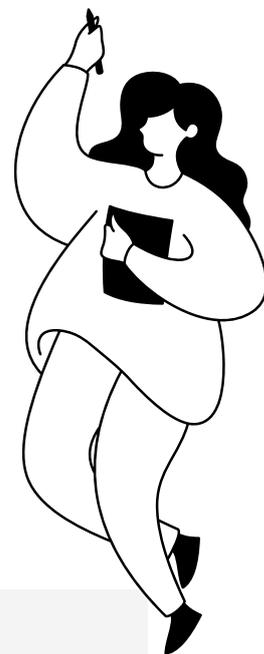
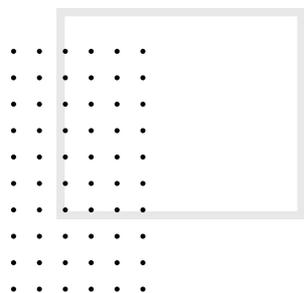
報告書



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業
大学生企画運営チーム

目次

- 事業概要 P1
- ライフチーム報告書 . . . P6
- ジョブチーム報告書 . . . P12



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業の概要

1 目的

就職活動をスタートする前の中予管内の大学生に対し、県内企業を知る機会を提供するとともに、地域の魅力を体感してもらうことにより、県内就職を促進し、若者の県内定着を図る。

2 事業期間

令和5年度～令和7年度

3 事業内容

中予管内の大学生に対し、県内企業を知る機会の提供や、地域の魅力を体感してもらう「地域の魅力発見ワークショップ」、「地域の豊かな暮らしフィールドワーク」など、各種取組みを実施した。

(1) 大学生企画運営チーム（令和5年度～令和7年度）

県内大学生と中予地方局若手職員が主体となり、大学生の興味関心に沿った「地域の豊かな暮らしフィールドワーク」を企画・運営した。

《大学生企画運営チーム構成》

| | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 局若手職員 | 24 人 | 23 人 | 18 人 |
| 愛媛大学 | 15 人 | 30 人 | 10 人 |
| 松山大学 | 10 人 | 10 人 | 19 人 |
| 合計 | 49 人 | 63 人 | 47 人 |

(2) 地域の魅力発見ワークショップ（令和5年度）

地域の豊かな暮らしフィールドワークの効果を高めるため、学生が県内企業と地域の魅力を学び、中予地域での将来の生活がイメージできるワークショップを開催した。

| | 第1回ワークショップ | 第2回ワークショップ | 第3回ワークショップ |
|------|--|---|---|
| 日時 | R5.6.10（土） 13:00～16:00 | R5.7.22（土） 13:00～16:30 | R6.3.18（月） 10:00～11:30 |
| 場所 | 愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 1階CRI-1 | 松山大学樋又キャンパス 2階H2A教室 | 中予地方局 7階大会議室 |
| 参加者数 | 30名 | 14名 | 18名 |
| テーマ | 働く意味（「働くことで得られるもの」「なぜ働くのか」）働く意義と価値観・キャリア形成について考える | 「価値観」に基づく「仕事」「暮らし」「人生」を 実践・実現するには | 今年度を振り返り、来年度の活動を考える |
| 内容 | 社会人との意見交換やNPO 法人ワークライフラボ代表理事の堀田さんの講義によって、将来の仕事と暮らしに関する理解を深め、自分が大切にしたい価値観を明らかにする。 | NPO 法人ワークライフラボ代表理事の堀田さんの講義や各市町のポスターセッションを聞き、自分の価値観に合う仕事と暮らしがどの市町で実現できるか考える。 | 今年度事業の振り返りと、来年度に向けた学生・PT・中予地方局政策形成アドバイザー間での意見交換を行う。 |

(3) 地域の豊かな暮らしフィールドワーク（令和5年度～令和7年度）

学生が中予地域で就職し、充実した暮らしがイメージできるよう、地域の魅力や地元企業を知る体験・交流機会として、「暮らし」及び「仕事」に関するフィールドワークを開催した。

《令和5年度》

① ライフチーム

| | | | |
|------|----------------------------------|-----------------------------|--|
| 市町名 | 松山市 | 砥部町 | 伊予市 |
| 日 時 | R5.10.29 (日) 9:00~16:30 | R5.11.5 (日) 8:00~16:30 | R5.11.18 (土) 11:15~17:15 |
| 場 所 | 松山市久谷地区 | 砥部町広田・宮内地区 | 伊予市双海地区 |
| 参加者数 | 8名 | 7名 | 2名 |
| 内 容 | 国指定重要文化財「渡部家住宅」で開催される秋のフェスタに参加 等 | 広田ふるさとフェスタ出店応援及び砥部焼まつりに参加 等 | J R 下灘駅から望むロケーションを楽しんだ後、地域おこし協力隊との交流 等 |

| | | | |
|------|------------------------------------|--|---|
| 市町名 | 東温市 | 久万高原町 | 松前町 |
| 日 時 | R5.11.19 (日) 11:45~18:40 | R5.12.3 (日) 8:15~16:30 | R6.1.12 (金) 9:30~16:00 |
| 場 所 | 東温市河之内 他 | 久万高原町菅生 他 | 松前町中川原地区 |
| 参加者数 | 6名 | 12名 | 10名 |
| 内 容 | 白猪の滝を散策後、ドライフラワーづくりや地域おこし協力隊との交流 等 | 久万美術館で美術鑑賞した後、ゆりラボ職員や移住者と交流し、久万高原ふるさと旅行村で自然を体感 等 | まんまイチゴ園で軽農作業・イチゴ狩りをした後、ひよこたん池公園でおしゃれ写真を撮影 等 |

② ジョブチーム

| | | |
|-------|--------------------------------|--|
| イベント名 | 業界マップづくり | 社長さんとの de 愛イベント |
| 日 時 | R5.7.8 (土) 13:00~17:00 | R5.9.2 (土) 13:00~17:00 |
| 場 所 | 松山大学樋又キャンパス | 松山大学樋又キャンパス |
| 参加者数 | 11名 | 15名 |
| 内 容 | スマホで県内企業を調べ「オンリーワンな愛媛の業界地図」を作成 | 県内企業の社長とリラックスした雰囲気の中で交流し、就活サイト等では伝わりきらない社長の想いや将来ビジョンなどに触れ |
| 参加企業 | — | (株)イープレス、キスケ(株)、ジャスティン(株)、(株)一六、愛媛製紙(株)、(株)テックアイエス ※計6社 |

| | | |
|-------|--|--|
| イベント名 | 企業探検隊 | ロールモデルカフェ |
| 日 時 | R5.9.13 (水) 10:00~18:00 | [愛媛大学] 14:30~16:00 R5.10.16 (月)、23 (月)、30 (月) [松山大学] 14:15~15:45 R5.10.18 (水)、25 (水)、11.1 (水) |
| 場 所 | 愛媛大学ひめテラス | 愛媛大学ひめテラス 松山大学樋又キャンパス |
| 参加者数 | 16名 | 延べ12名 |
| 内 容 | インターンシップとは異なる企業訪問(体験)を通じて県内企業の強みや魅力を知る | 比較的年齢の近い先輩(ロールモデル)との対話から、仕事に対する価値観や将来像をイメージする |
| 参加企業 | (株)イープレス、キスケ(株)、サイボウズ(株)、山陽物産(株)、南海放送(株) ※計5社 | (株)プラトン、佐川印刷(株)、(株)宇和島プロジェクト、(株)マルヤス、サイボウズ(株)、(株)アイサイト ※計6社 |

《令和6年度》

① ライフチーム

| 市町名 | 伊予市 | 久万高原町 | 松前町 |
|------|--|---|---|
| 日時 | R6. 7. 6 (土) 9:30~17:15 (事前調査: R6. 6. 2) | R6. 8. 26 (月) 10:10~17:50 (事前調査: R6. 6. 29) | R6. 8. 27 (火) 10:40~17:30 (事前調査: R6. 7. 13) |
| 場所 | 伊予市双海地区 | 久万高原町久万地区・面河地区 | 松前町 |
| 参加者数 | 延べ17名 (フィールドワーク: 12名、事前調査: 5名) | 延べ18名 (フィールドワーク: 12名、事前調査: 6名) | 延べ17名 (フィールドワーク: 14名、事前調査: 3名) |
| 内容 | 関木醤油工場・JR下灘駅の 見学、元地域おこし協力隊 員との交流 等 | 町産品を使ったスパイス作 り、面河溪散策、ゆりラボ での座談会 等 | 義農味噌工場見学、きゅう り収穫、サンタ(株)アイス工 場の見学 等 |

| 市町名 | 松山市 | 東温市 | 砥部町 |
|------|---|--|---|
| 日時 | R6. 10. 26 (土) 8:00~17:30 (事前調査: R6. 9. 22) | R6. 12. 1 (日) 10:00~17:30 (事前調査: R6. 10. 27) | R6. 12. 21 (土) 10:00~17:00 (事前調査: R6. 10. 19) |
| 場所 | 松山市興居島 | 東温市奥松瀬地区 | 砥部町宮内地区・広田地区 |
| 参加者数 | 延べ16名 (フィールドワーク: 13名、事前調査: 3名) | 延べ19名 (フィールドワーク: 14名、事前調査: 5名) | 延べ16名 (フィールドワーク: 14名、事前調査: 2名) |
| 内容 | せとかの袋かけ農業体験、 gogoshima beer farmの見 学、地域おこし協力隊員と の交流等 | レンガ造りの窯でのピザ 焼き体験、ゆずの収穫体 験、ぽんぽこ農園の見学 等 | とべりてメンバーとの交流、 砥部焼の絵付け体験、広田地 区の住民との交流 等 |

| 市町名 | 西条市 | 内子町 |
|------|--|---|
| 日時 | R7. 1. 18 (土) 8:30~17:15 (事前調査: R6. 12. 7) | R7. 1. 26 (日) 8:30~19:00 (事前調査: R6. 12. 15) |
| 場所 | 西条市大町地区 | 内子町御禊地区・町並み保存地区 |
| 参加者数 | 延べ12名 (フィールドワーク: 10名、事前調査: 2名) | 延べ10名 (フィールドワーク: 8名、事前調査: 2名) |
| 内容 | 鉄道歴史パーク SAIJOの見 学、西条祭りの関係者・里 芋農家との交流、SAIJO BASE見学 等 | 内子の山できこり体験、み そぎの里でこんぼう作り、 町並み保存地区散策 等 |

② ジョブチーム

| イベント名 | ジョイントイベント | 業界マップづくり |
|-------|---|--|
| 日時 | R6. 6. 22 (土) 10:00~16:30 | R6. 7. 27 (土) 13:00~16:20 |
| 場所 | えひめこどもの城 | 松山大学樋又キャンパス |
| 参加者数 | 中止 (雨天のため) | 15名 |
| 内容 | 大学生と若手社会人がアクティビティ等 を通じて交流し、地域や県内企業の魅力に 気づくきっかけとする (雨天のため中止) | 県内の主要な企業や業界について講義や ネットリサーチで理解を深め、「愛媛の業 界地図」を作成するワークショップを実施 |
| 参加企業 | (株)愛媛銀行、(株)テックアイエス、(株)b- and-a、(株)イープレス、(株)風土、愛媛製紙 (株)、(株)マルカワ、(株)あいテレビ、(株)ゆう ぼくの里、(株)エス・ピー・シー、ジャス ティン(株)、(株)三福ホールディングス、(株) ありがとうサービス、(株)大昌、(株)フジコ ン、(株)伊予銀行 ※計16社 | (株)b-and-a、(株)エス・ピー・シー、(株)フジコ ン、(株)ありがとうサービス、(株)オカベ、(株) クリエイティブキ ※計6社 |

| | | |
|-------|---|---|
| イベント名 | 社長との交流イベント | 企業探検隊 |
| 日時 | R6. 10. 12 (土) 13:00~16:30 | R7. 2. 17 (月) 10:30~17:30 |
| 場所 | 愛媛大学地域交流スクエア | 松山大学樋又キャンパス |
| 参加者数 | 30名 | 25名 |
| 内容 | 県内企業の若手社長(5名)とリラックスした雰囲気交流し、就活サイト等では伝わりきらない経営者の想いや将来ビジョン等に触れる | 本格的なインターンを開始する前の大学1~2年生に企業訪問・職業体験の機会を提供し、県内企業の強みや魅力を知るきっかけとする |
| 参加企業 | (株)イープレス、(株)b-and-a、ジャスティン(株)、Rクリエイイト(株)、(株)三福テンダーネス ※計5社 | (株)ダイキアクシス、(株)テックアイエス、(株)イープレス、キスケ(株)、(株)愛媛銀行 ※計5社 |

《令和7年度》

① ライフチーム

| | | | |
|-----|--|--|---|
| 市町名 | 大洲市 | 伊予市 | 久万高原町 |
| 日時 | R7. 7. 26 (土) 8:30~17:30 (事前調査: R6. 6. 7) | R7. 8. 9 (土) 11:30~18:10 | R7. 8. 20 (水) 9:00~17:00 |
| 場所 | 大洲市大洲地区 | 伊予市双海地区 | 久万高原町 |
| 参加数 | 延べ26名 (フィールドワーク: 24名、事前調査: 2名) | 21名 | 17名 |
| 内容 | 鵜匠・地域おこし協力隊との交流、少彦名神社の見学、大洲城下の町並み散策 等 | 地域おこし協力隊との交流、トウクトウ乗車体験、シーサー作り体験、JR下灘駅の見学 等 | ブルーベリー収穫体験、ジャム作りとパン焼き体験、遅越の滝見学、天空の郷さんさん見学 等 |

| | | | |
|-----|--|--|--|
| 市町名 | 今治市 | 松山市 | 東温市 |
| 日時 | R7. 9. 27 (土) 8:00~18:00 (事前調査: R7. 8. 7) | R7. 10. 25 (土) 8:00~17:10 | R7. 12. 6 (土) 9:00~16:50 |
| 場所 | 今治市大三島 | 松山市興居島 | 東温市奥松瀬川地区 |
| 参加数 | 延べ23名 (フィールドワーク: 17名、事前調査: 6名) | 16名 | 17名 |
| 内容 | 移住者との交流、地元産ジビエ BBQ、イノシシ解体場の見学、大山祇神社の見学 等 | せとかの袋掛け体験、地元住民と交流しながら昼食づくり体験、サイクリングで島めぐり 等 | 元地域おこし協力隊との交流、本格ピザ焼き体験、完熟ゆずの収穫体験、ぼんぼこ農園の見学 等 |

② ジョブチーム

| | | |
|-------|---|--|
| イベント名 | 企業探検隊 | 社長との交流イベント |
| 日時 | R7. 9. 18 (木) 10:30~17:30 | R7. 10. 25 (土) 13:00~16:30 |
| 場所 | 松山大学樋又キャンパス | 愛媛大学 NP 地域交流ルーム |
| 学生参加数 | 20名 | 18名 |
| 内容 | 本格的なインターンを開始する前の大学1~2年生に企業訪問・職業体験の機会を提供し、県内企業の強みや魅力を知るきっかけとする | 県内企業の若手社長(5名)とリラックスした雰囲気交流し、就活サイト等では伝わりきらない経営者の想いや将来ビジョン等に触れる |
| 参加企業 | (株)イープレス、(株)愛媛銀行、サイボウズ(株)、(株)ダイキアクシス、南海放送(株) ※計5社 | Rクリエイイト(株)、(株)イープレス、(株)sf.、(株)三福ホールディングスP・SPOカンパニー、ジャスティン(株) ※計5社 |

4 KPI達成状況

(1) 参加者の愛 work 新規利用登録者数

| | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 |
|-------|-------|----------|----------|
| 時点・期間 | R5 年度 | R5～R6 年度 | R5～R7 年度 |
| 目標値 | 90 人 | 180 人 | 270 人 |
| 実績値 | 36 人 | 103 人 | 157 人 |

(2) 参加者の県内への就職活動者数(ストック(累計)で評価)

| | R5 年度 | R6 年度 | R7 年度 |
|-------|-------|----------|----------|
| 時点・期間 | R5 年度 | R5～R6 年度 | R5～R7 年度 |
| 目標値 | 0 人 | 35 人 | 105 人 |
| 実績値 | 1 人 | 6 人 | 13 人 |

ライフチーム報告書

3年間の総括（概要）



ライフチーム概要

ライフチームでは、県内大学生を対象に、県内地域における暮らしの魅力をを知る機会を提供することを目的として、中予管内各市町および東予・南予地域を舞台としたフィールドワークを実施した。

各フィールドワークでは、各市町の魅力的なスポットの見学に加え、地域住民との交流や県産品・郷土料理の体験を行う行程を組むことで、地域での暮らしを具体的にイメージできる内容とした。



イベント実績

【1年目】令和5年度

- ・地域の魅力発見ワークショップ（計3回）
- ・地域の豊かな暮らしフィールドワーク（計6回、中予管内6市町）

【2年目】令和6年度

- ・地域の豊かな暮らしフィールドワーク（計8回、中予管内6市町および東南予各1市町）

【3年目】令和7年度

- ・地域の豊かな暮らしフィールドワーク（計6回、中予管内4市町および東南予各1市町）

| 年度 | イベント名 | 定員 | 申込数 | 参加人数 |
|----------------|----------------------------|----|-----|------|
| 【1年目】 令和5年度 | 第1回ワークショップ（R5.6.10） | 60 | 39 | 30 |
| | 第2回ワークショップ（R5.7.22） | 60 | 17 | 14 |
| | 松山市暮らしのフィールドワーク（R5.10.29） | 15 | 10 | 8 |
| | 砥部町暮らしのフィールドワーク（R5.11.5） | | 10 | 7 |
| | 伊予市暮らしのフィールドワーク（R5.11.18） | | 3 | 2 |
| | 東温市暮らしのフィールドワーク（R5.11.19） | | 8 | 6 |
| | 久万高原町暮らしのフィールドワーク（R5.12.3） | | 13 | 12 |
| | 松前町暮らしのフィールドワーク（R6.1.12） | | 12 | 10 |
| | 第3回ワークショップ（R6.3.18） | — | — | 18 |
| 【2年目】 令和6年度 | 伊予市暮らしのフィールドワーク（R6.7.6） | 15 | 15 | 12 |
| | 久万高原町暮らしのフィールドワーク（R6.8.26） | | 16 | 12 |
| | 松前町暮らしのフィールドワーク（R6.8.27） | | 17 | 14 |
| | 松山市暮らしのフィールドワーク（R6.10.26） | | 25 | 13 |
| | 東温市暮らしのフィールドワーク（R6.12.1） | | 17 | 14 |
| | 砥部町暮らしのフィールドワーク（R6.12.21） | | 14 | 14 |
| | 西条市暮らしのフィールドワーク（R6.1.18） | | 10 | 10 |
| | 内子町暮らしのフィールドワーク（R6.1.26） | | 14 | 8 |
| 【3年目】 令和7年度 | 大洲市暮らしのフィールドワーク（R7.7.26） | 20 | 22 | 24 |
| | 伊予市暮らしのフィールドワーク（R7.8.9） | | 25 | 21 |
| | 久万高原町暮らしのフィールドワーク（R7.8.20） | | 22 | 17 |
| | 今治市暮らしのフィールドワーク（R7.9.27） | | 22 | 17 |
| | 松山市暮らしのフィールドワーク（R7.10.25） | | 26 | 16 |
| | 東温市暮らしのフィールドワーク（R7.12.6） | | 23 | 17 |
| 合 計 | | | 380 | 316 |

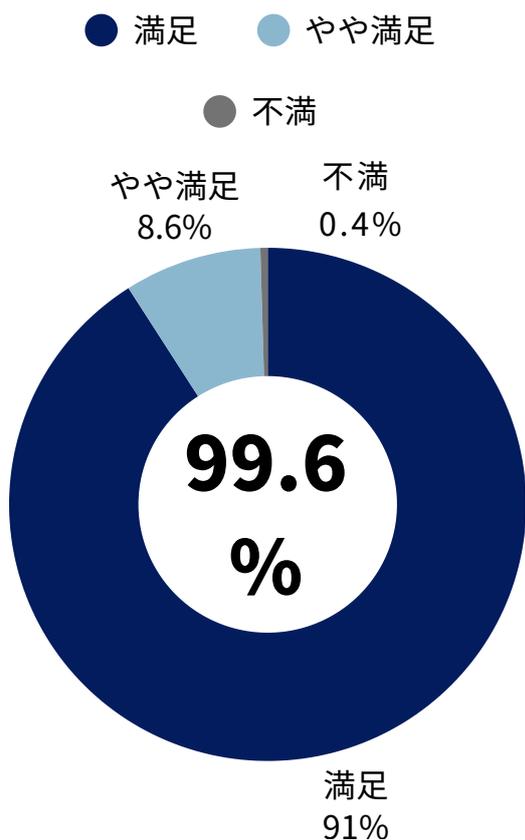
ライフチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）



イベントに満足と回答した参加者の割合

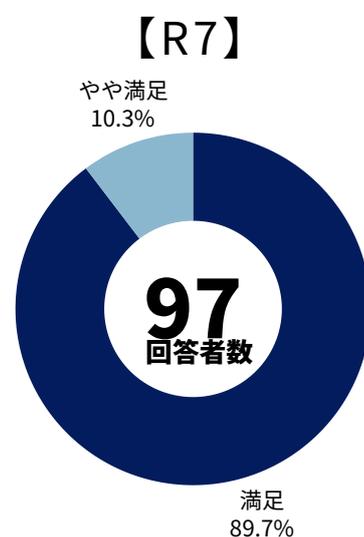
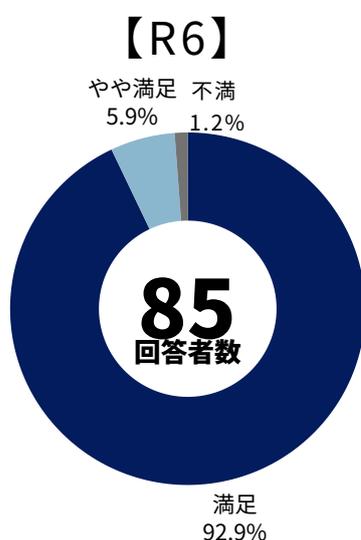
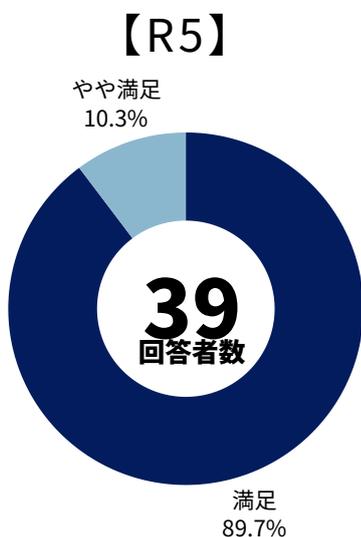
【3カ年合計】



ライフチームイベントの3年間の総合的な満足度は「満足」「やや満足」合わせて99.6%と非常に高い。

「不満」と答えた人は3年間で1名のみだった。

※参加者のうち、アンケート未回答者は除く



※ワークショップ参加者は除く

ライフチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）



愛媛県に愛着が湧いた参加者の割合

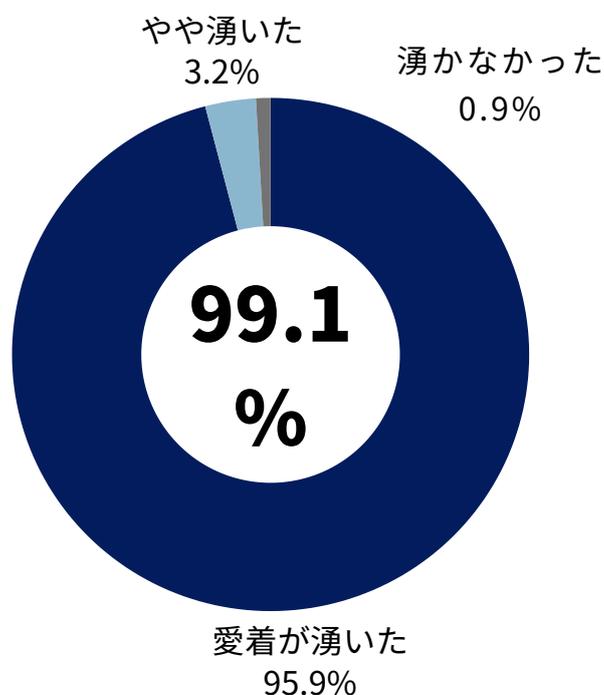
【3カ年合計】

- 愛着が湧いた
- やや湧いた
- 湧かなかった

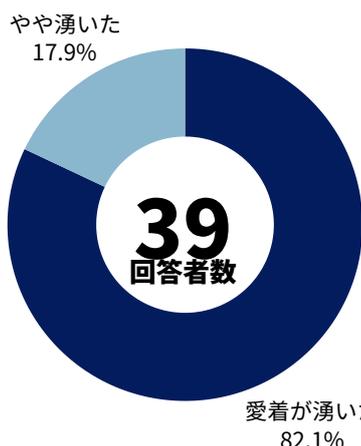
今事業で実施したフィールドワークを通して「愛媛県に愛着が湧いた」「やや湧いた」と答えた割合は、99.1%！

「湧かなかった」と答えた人は3年間で2名にとどまっており、フィールドワークに参加した学生に愛媛の魅力を知ってもらえたことがわかる結果となった。

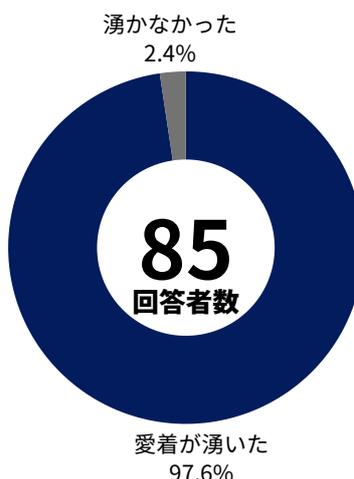
※参加者のうち、アンケート未回答者は除く



【R5】



【R6】



【R7】



※ワークショップ参加者は除く

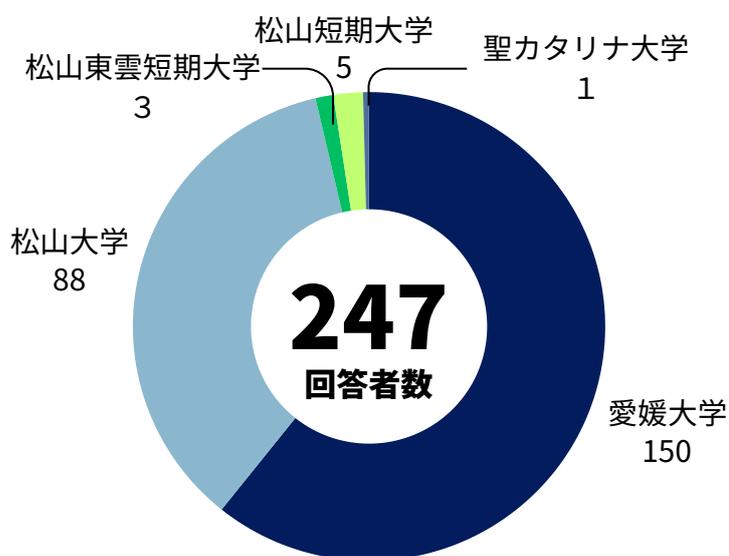
ライフチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）

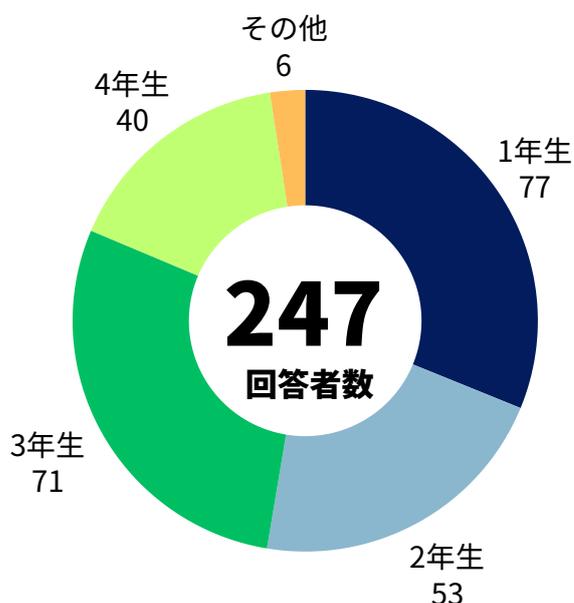


参加者の属性について

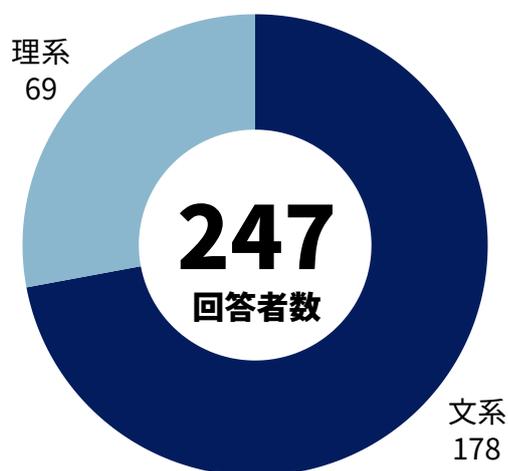
Q.大学



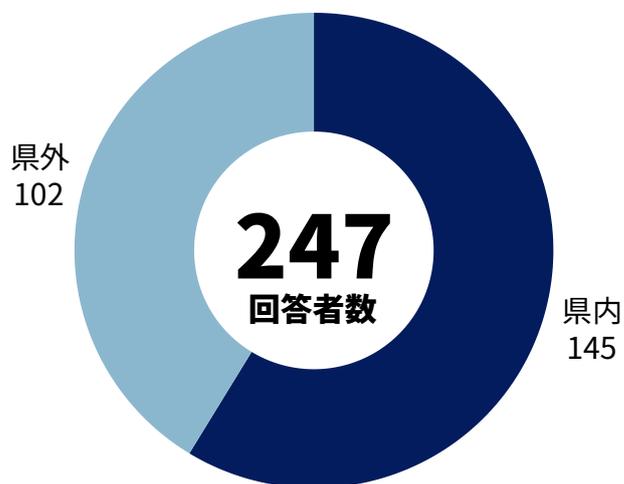
Q.学年



Q.学部



Q.出身地

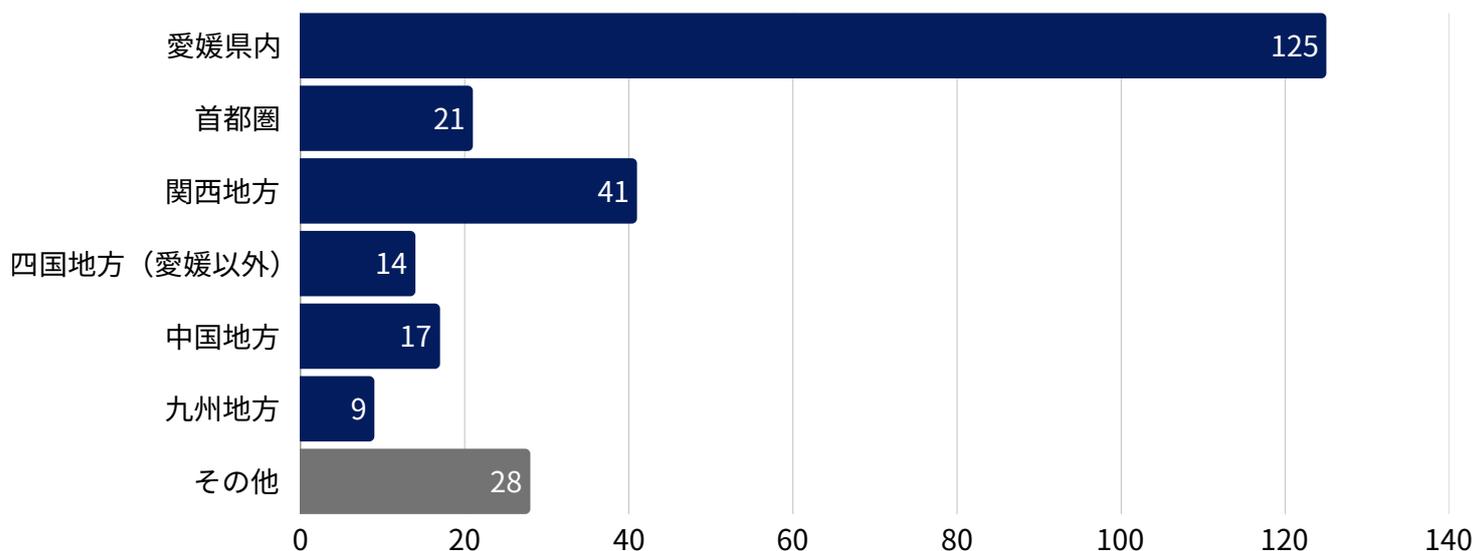


ライフチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）



卒業後に住みたい地域

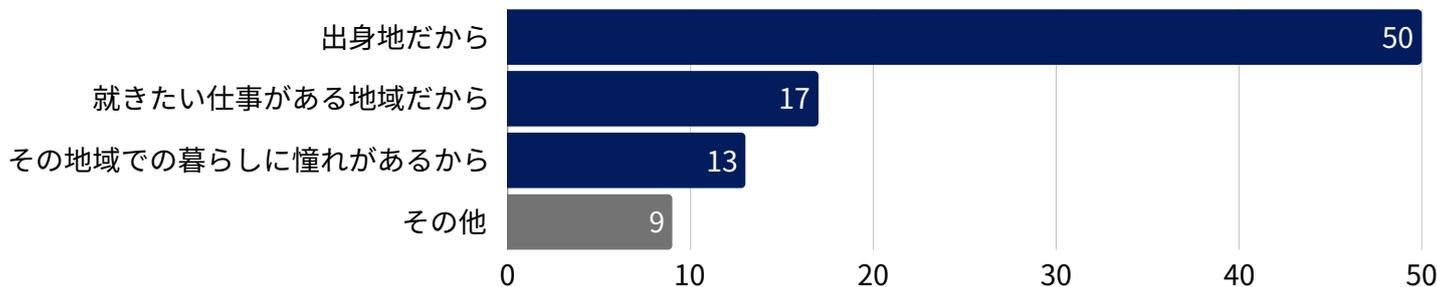


※複数回答あり

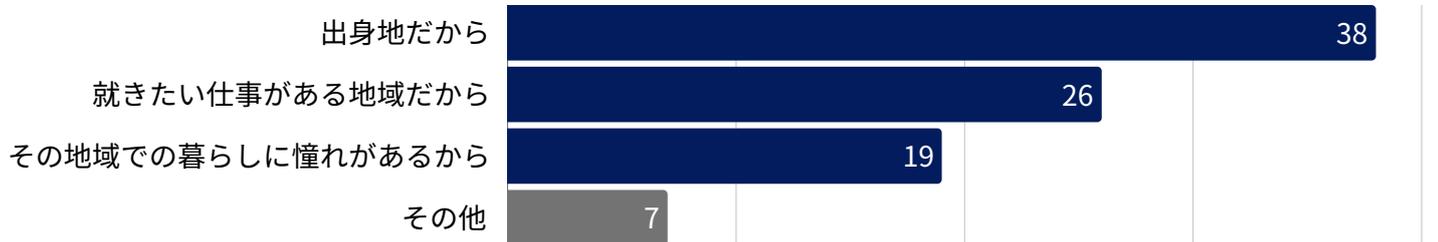


上記の地域で働きたい理由

【県内就職希望者】



【県外就職希望者】



※複数回答あり
※R6・R7のみ

ライフチーム報告書

3年間の総括（まとめ）



アンケート結果の傾向等

卒業後に住みたい地域について、参加者の大半（125人）が県内での定着を希望しており、一定の事業成果がうかがえる。県内で働きたい理由として最も多かったのは「出身地だから」だが、「その地域での暮らしに憧れがあるから」「就きたい仕事がある地域だから」という理由を選んだ参加者もあり、県内のライフスタイルや仕事に対する魅力を感じている若者が一定数いることが伺える。



大学生コアメンバーの意見・感想

Q.このプロジェクトの企画運営に関わって感じたこと

- ・愛媛の出身ではあるが、出身市やゆかりのある地域以外は詳しくなかったため、より郷土愛が深まった。
- ・参加者としての関わりだけでは経験できなかった広報の作成や当日の振り返りをさせていただき、貴重な経験になった。
- ・この活動を通して、今まで20年間愛媛に住んでいても知らなかった愛媛の魅力をたくさん知ることができた。
- ・きれいな景色やパワースポット、特産品などに加え、特にたくさんの人の魅力を知ることができた。
- ・今まで関わることのなかったたくさんの人と知り合うことができたし、学んだことや得るものがとても多かった。
- ・これからも愛媛で暮らして愛媛で働きたいと思った。
- ・地域おこしに身近に関わることができ、収穫体験やまだまだ知らなかった場所など、五感を使って体験することができて、とても楽しかった。
- ・以前は地域おこしと聞いても他人事のように流していましたが、この体験を通して、自分の中の働く姿、地元の未来などを深く考えるきっかけになって、地域貢献という言葉により、実感を持って行動することができた。

ジョブチーム報告書

3年間の総括（概要）



ジョブチーム概要

ジョブチームでは、主に大学生低学年を対象に、県内企業や「働くこと」について知るきっかけを提供し、将来の就職先として県内企業を選択肢の一つとして意識してもらうことを目的に、大学生コアメンバーと連携してイベントを企画・運営した。

就職活動を開始する前の早い段階から企業や経営者と直接関わる機会を設けることで、学生が自分なりの働くイメージを持ち、キャリアについて考えるきっかけとなることを目指した。



イベント実績

【1年目】 令和5年度

- ・業界マップづくり
- ・社長さんとのde愛イベント
- ・企業探検隊
- ・ロールモデルカフェ

【2年目】 令和6年度

- ・~~ジョイントイベント~~
- ・業界マップづくり
- ・社長との交流イベント
- ・企業探検隊

【3年目】 令和7年度

- ・企業探検隊
- ・社長との交流イベント

| 年度 | イベント名 | 定員 | 申込数 | 参加人数 |
|----------------|------------------------|------|-----|------|
| 【1年目】 令和5年度 | 業界マップづくり | 40 | 16 | 11 |
| | 社長さんとのde愛イベント | 30 | 20 | 15 |
| | 企業探検隊 | 30 | 24 | 16 |
| | ロールモデルカフェ | のべ60 | 11 | のべ12 |
| 【2年目】 令和6年度 | ジョイントイベント (雨天のため中止) | 60 | 67 | |
| | 業界マップづくり | 30 | 23 | 15 |
| | 社長との交流イベント | 30 | 40 | 30 |
| | 企業探検隊 | 30 | 28 | 25 |
| 【3年目】 令和7年度 | 企業探検隊 | 30 | 26 | 20 |
| | 社長との交流イベント | 30 | 28 | 18 |
| 合 計 | | | 283 | 161 |

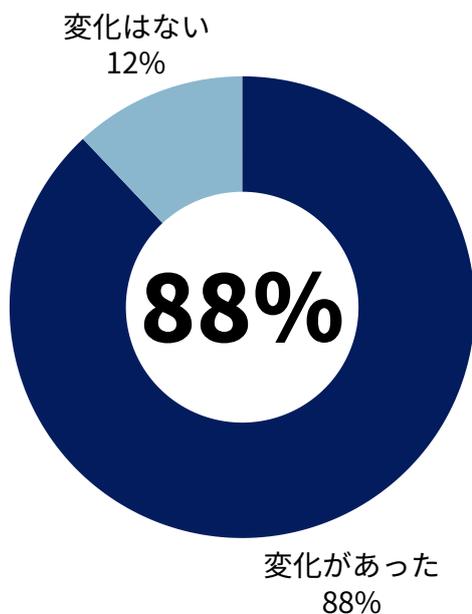
※令和7年度は、過去2年間の実施結果を踏まえ、事業効果の高い二つに絞って実施した。

ジョブチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）

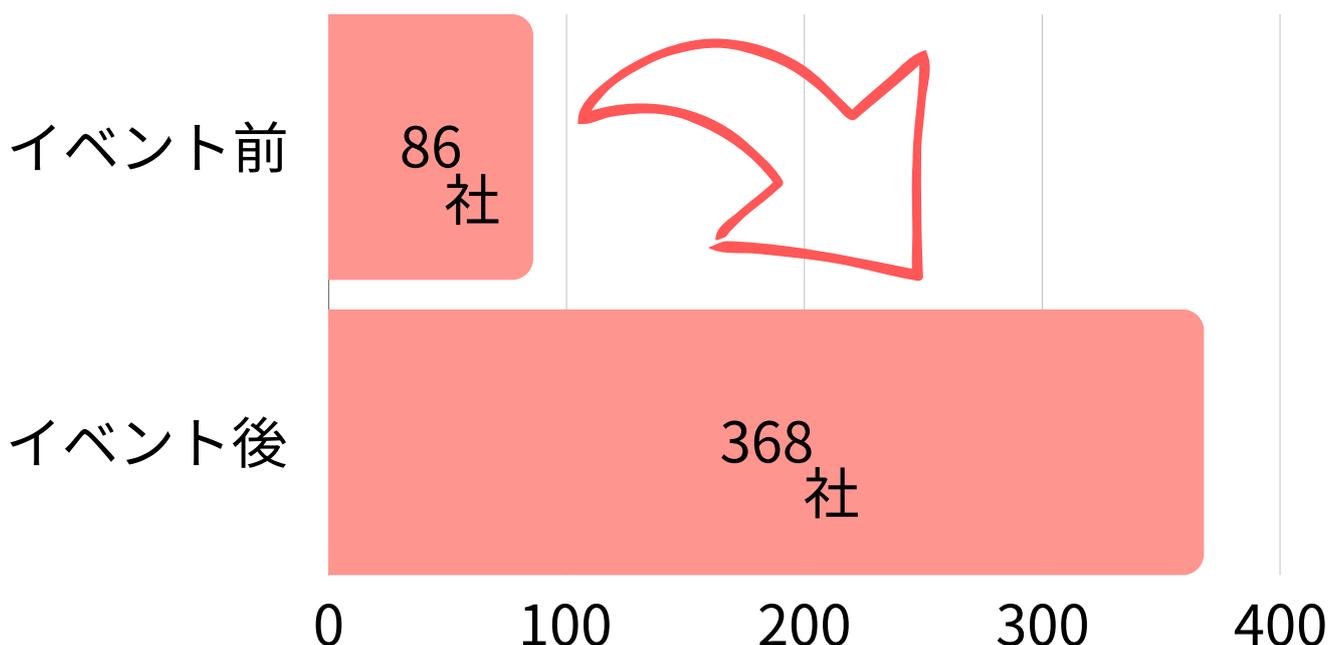


知っている県内企業数の変化



⇒9割近くの学生が知っている企業数に変化があったと回答！イベント参加前は、86社（参加者合計）程度しか県内企業を知らなかったが、イベント終了後には、300社以上の県内企業を知ることができ、県内企業の認知度が向上した！

約4.3倍に増加！



※R5・R6業界マップづくりイベントのアンケート結果から抜粋

ジョブチーム報告書

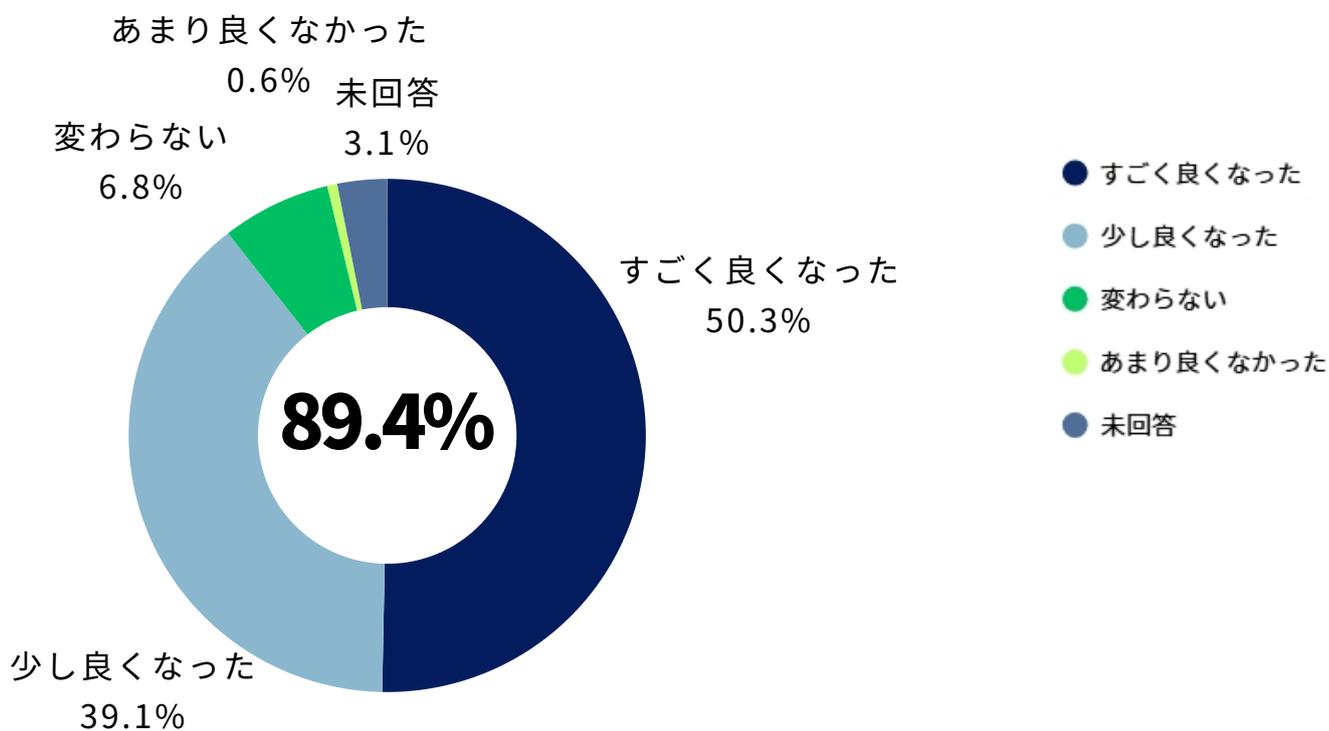
3年間の総括（アンケート結果）



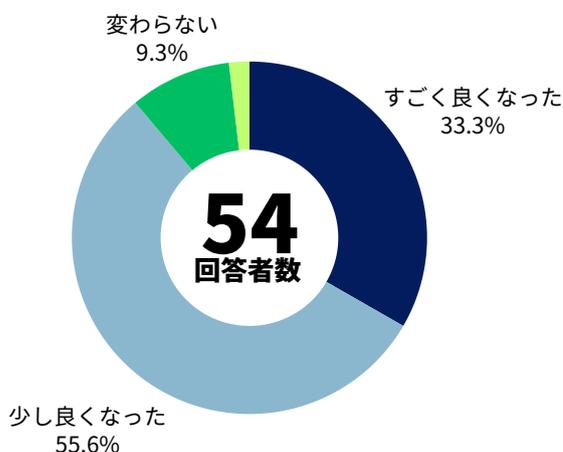
県内企業や社長のイメージ

⇒県内企業や社長に対するイメージについて、参加者の約9割が「すごく良くなった」「少し良くなった」と回答！

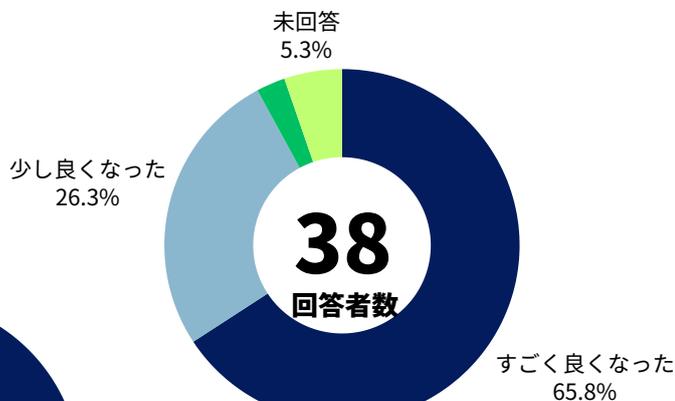
【3カ年合計】



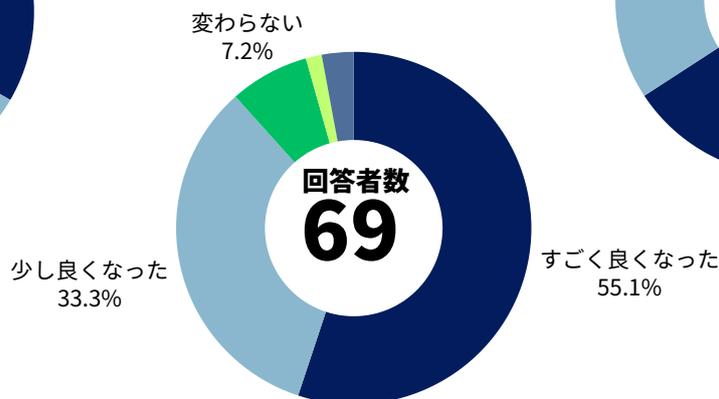
【R5】



【R7】



【R6】



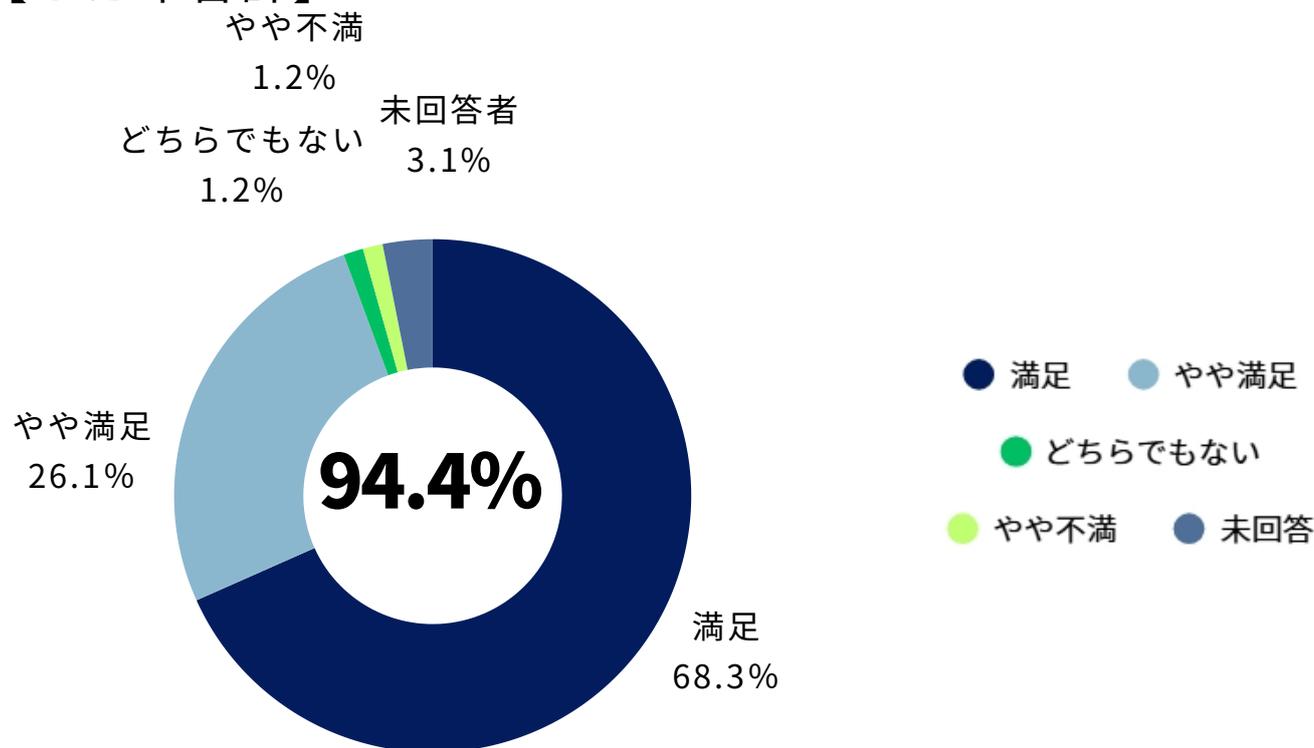
ジョブチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）

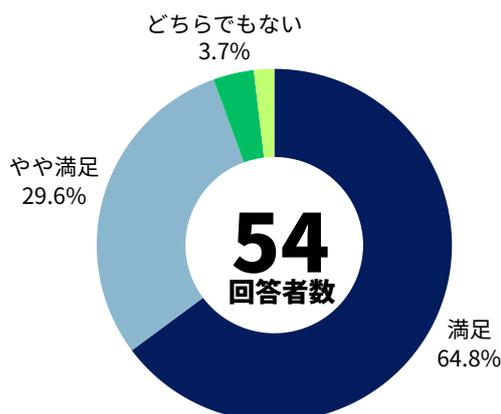
イベントの満足度

⇒3年間の各イベントを通して「満足」「やや満足」と回答した学生は全体の9割以上で高い満足度を獲得！

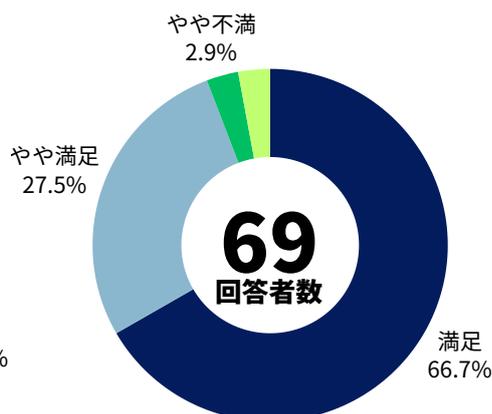
【3カ年合計】



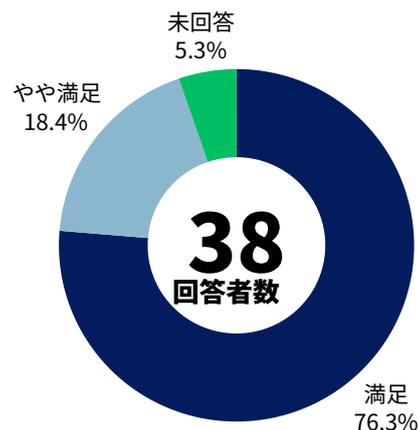
【R5】



【R6】



【R7】



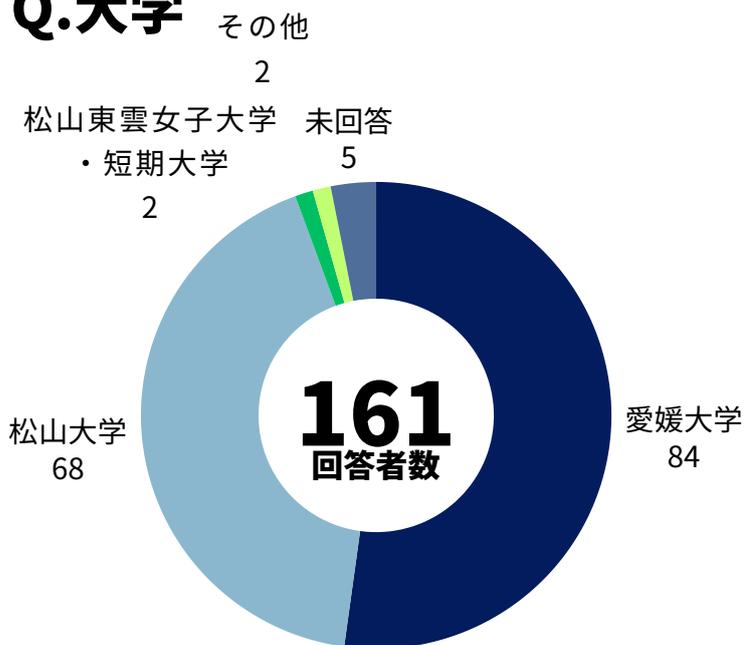
ジョブチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）

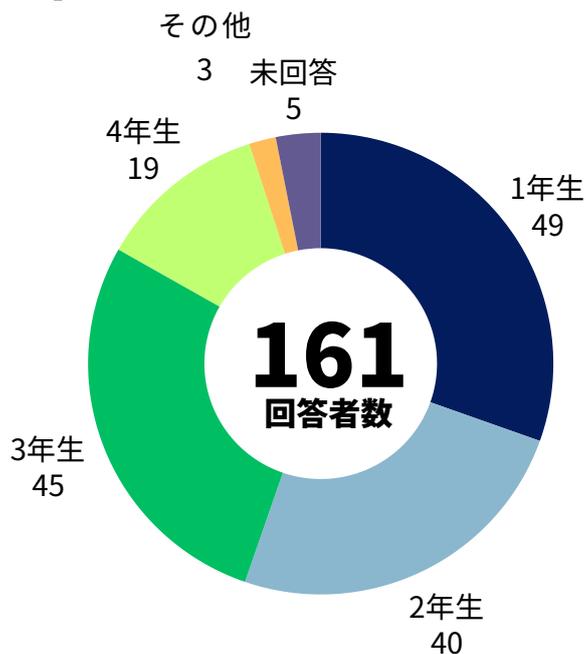


参加者の属性について

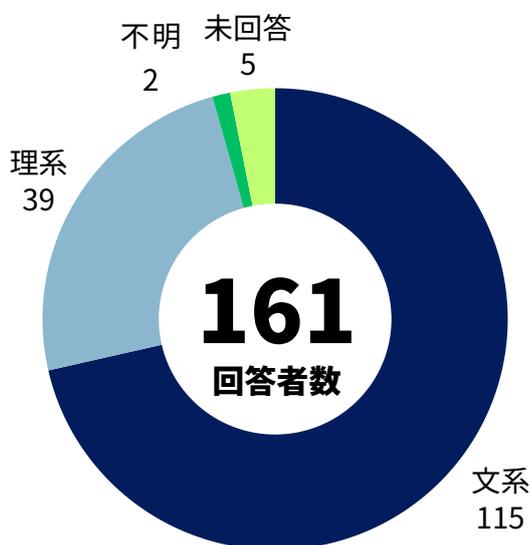
Q.大学



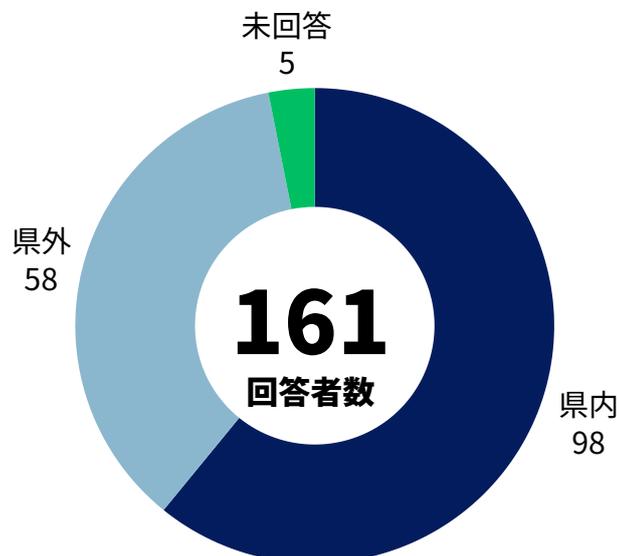
Q.学年



Q.学部



Q.出身地



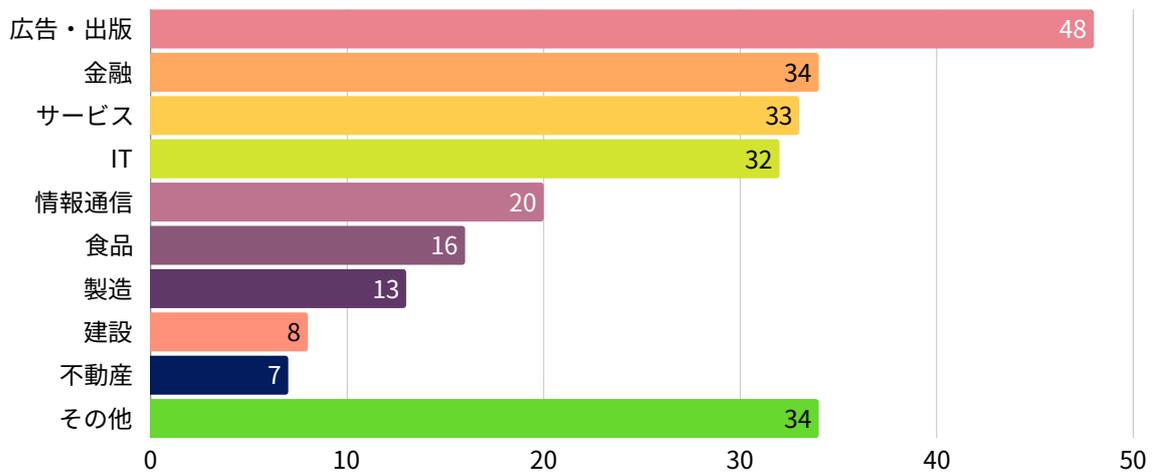
ジョブチーム報告書

3年間の総括（アンケート結果）



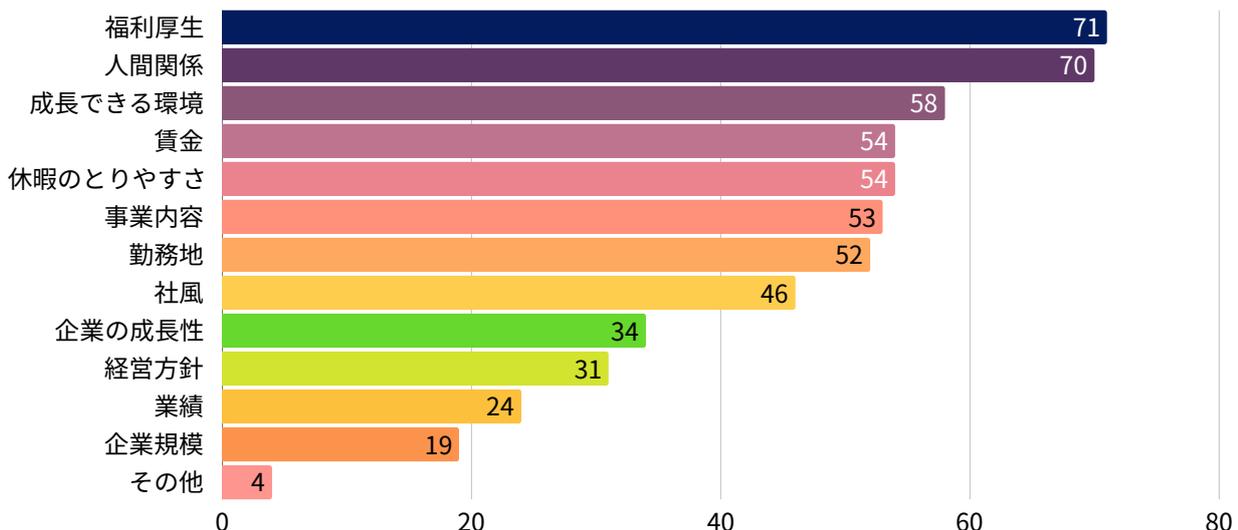
関心のある業界

⇒「広告・出版」への関心が圧倒的に高かった！反面、「製造」「建設」「不動産」など専門知識や技術を要するイメージの分野は関心が低かった。参加学生に理系が少ないことも影響しているが、仕事内容のイメージがしやすい業界や都市部に多い業種への関心が高くなる傾向にあると推測される。



就職する際の決め手

⇒「福利厚生」や「人間関係」を重視する学生が圧倒的に多く、「業績」や「企業規模」を重視する割合は低い傾向が見られた！都市部に多い業種への関心は高いものの、県内企業においても働きやすさや職場環境の良さといった点が学生に十分に伝わることで、都市部志向に偏ることなく、県内就職を選択するきっかけにつながると考えられる。



ジョブチーム報告書

3年間の総括（まとめ）



大学生コアメンバーの意見・感想

Q.このプロジェクトの企画運営に関わって感じたこと

●県内の若手経営者と関わりを持てる貴重な経験ができ、就活の支えになった。分野別の様々な企業と連携しながら活動を進めることができたため、視野が広がる一助となった。

●1つのイベントを成功させるには、その裏で様々な人が動き、イベントが成り立っていることを学んだ。また事前打ち合わせで参加学生がより親しめるアイスブレイクを考えたことなどは、とても良い経験になった。このプロジェクトで、今まで知らなかった会社について知ることができただけでなく、会社の上層部の方や経営者と関われたことで、自分が共感できる考えや理念を持っている方の下で働きたいと思うきっかけになった。

●色々な経営者の話を聞くことや実際に企業を訪れることで新しい価値観などに触れることができ、将来について考えるきっかけになった。地域活性といえば公務員というイメージだったが、民間企業でも地域貢献をしている企業があることを知り、視野が広がった。

●各イベントの参加企業と事前に打ち合わせをすることは企画側でしかできないことで、とても貴重な体験で一番印象に残った。大学で土木を学んでいるが、土木職は官公庁のイメージが強く、民間企業のイメージが無かった。プロジェクトをきっかけに色々な県内企業を知り、就職への新しい発見の場になった。

ジョブチーム報告書

3年間の総括（まとめ）

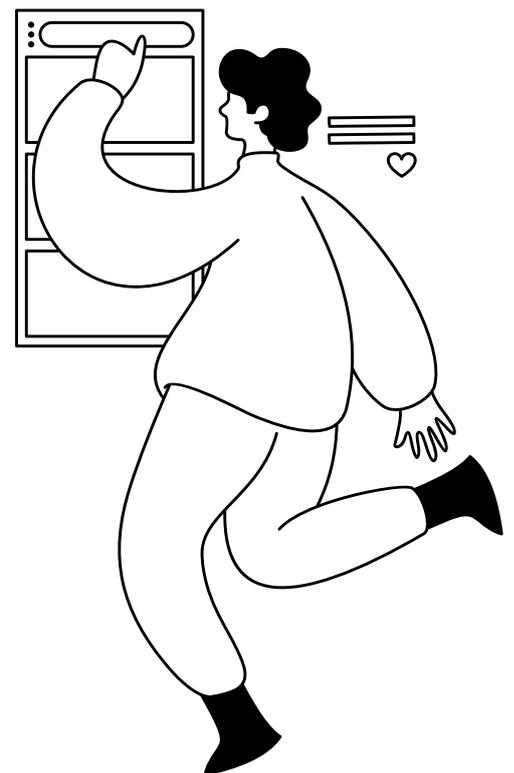
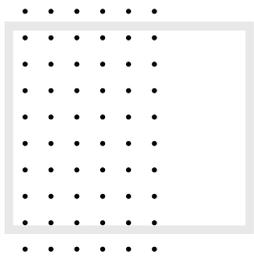
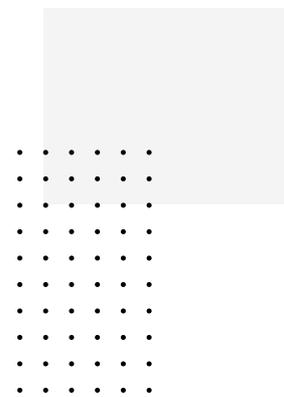
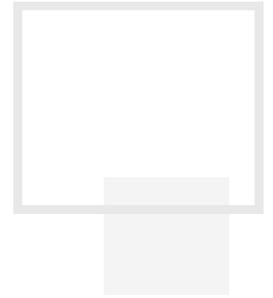
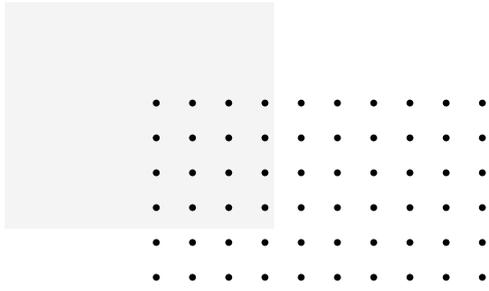


アンケート結果の傾向等

3年間を通して参加学生の満足度は高く、アンケート結果からは、県内企業や経営者に関する知見やイメージが向上し、愛媛で働くことを前向きに考える学生が増加したことがうかがえた。また、参加学生は1～3年生が多く、就職活動が本格化する前から進路や働き方を真剣に考え、「働くこと」や「将来のキャリア」について主体的に考える意識づくりに寄与することができたものと思われる。

本プロジェクトは終了となるが、後継事業として本庁産業人材課による「えひめキャリアチャレンジ for College」事業が今年度から実施されている。同事業は、大学生や専門学校生を対象に県内企業での就労体験や課題解決型イベントを開催するなど、本プロジェクトの取組を踏まえて対象や規模を拡充し、学生と企業の「接触頻度・濃度」を一層高めたものとなっている。

若者の県内定着には「県内企業で働きながら楽しく生活するイメージ」の醸成を図ることが重要であり、本プロジェクトはその第一歩となる有意義な取組であったと考えられる。



「豊かな中予暮らし」体験・交流事業

愛媛県中予地方局
地域政策課・商工観光課